

第9回政府間協議について

平成15年11月18日

文部科学省研究開発局

1．開催日程：平成15年11月9日（日）～10日（月）

2．開催場所：北京（中国）

3．参加者： 別紙

4．結果概要：

（1）近況報告

カナダ：

- ・オンタリオ州の新政府はITER計画の支持を再確約したが、カナダ連邦政府はカナダ提案の見直し（政府による費用負担を行うこと）については決定を未だ行っていない。
- ・カナダとしては、カナダが決定に至っていないことで、ITER参加極によるサイト選定等の予定を妨げる意図は無い。

中国：

- ・ITER国際チームの活動に貢献するため、数人の専門家を日本と欧州の作業サイトに派遣した。
- ・中国の中長期科学技術開発計画にITERを位置付けるべく評価作業を行っている。

EU：

- ・11月27日の競争力相理事会においてEUの候補地を決定する予定である。

日本：

- ・ITER計画の推進及び日本への誘致に関する熱意は高まっている。特に、国に関しては政府全体で取り組んでいる。
- ・来年度に六ヶ所でITERの建設が開始されること前提として、必要な予算を要求している。

- ・重点化と効率化を図りつつ、国内研究を健全に育成し、ITER計画に対して有効な支援を行える体制を整えたい。
- ・年内にサイト決定と重要な項目についての合意に向けて各極が更に努力する必要があると考える。

韓国：

- ・10月30日から11月5日までの間に、六ヶ所、カダラッシュ、バンデヨスを訪問した。これを元に、サイト選定に関する意思決定を行う。

米国、ロシア：

- ・年内合意の必要性を強調した。

(2) 主な議論

ITERの実施主体であるITER国際核融合エネルギー機構を設立し、ITER計画を実施するために必要な協定案について、知的所有権の取扱いの考え方の大枠について合意が得られる等の進展が見られた。

調達について、主要な機器の調達配分と、調達を実施する枠組みの原則と指針について合意した。

機構の組織について、建設時の組織の主要な部分について合意した。運転時の組織に関しては、機構長候補者の選定を待って議論を継続する。

廃止措置について、廃止措置の原則と指針について合意。また、各候補サイトについて、廃止措置に必要な費用の上限値を提出することとなった。

その他、財務規則、人事規則等、機構の規則の内容について議論を行った。

(3) 今後の予定

本年中にサイト及び費用負担について決定することを確認した。

第9回ITER政府間協議 主な参加者

日本：

結城 章夫	文部科学省文部科学審議官（代表）
高松 明	外務省官房審議官
木谷 雅人	文部科学省官房審議官
大竹 暁	文部科学省核融合開発室長
天童 光宏	青森県商工労働部長
松田慎三郎	日本原子力研究所理事

E U：

フィンチ	欧州委員会研究総局顧問（代表）
ラジェー	欧州委員会研究総局核融合課長
ブラッドショー	核融合技術委員会議長

ロシア：

ボロコフ	原子力省第一次官（代表）
ベリコフ	クルチャトフ研究所総裁

カナダ：

オーデンバック＝サットン	天然資源省（代表）
スチュワート	ITERカナダ会長
ヴァンダーヴォト	オンタリオ州政府

米 国：

ハーディング	エネルギー省科学局長顧問（代表）
ロバーツ	エネルギー省科学局核融合科学部国際課長
カーナ	国務省

中 国：

石 定環	科学技術部秘書長（代表）	<議長>
金 炬	科学技術部国際合作司副司長	
羅 徳隆	科学技術部国際合作司処長	
霍 裕平	中科院院士、鄭州大学教授	

韓 国：

パク	科学技術部基礎科学・人材局長（代表）
ジュン	科学技術部基礎科学・人材局基礎科学支援課長
リー	韓国基礎科学院国立核融合研究開発センター所長

国際チーム：

下村 安夫	国際チームリーダー
-------	-----------

共同プレス・リリース（仮訳）

第9回ITER政府間協議

北京、中国 - 2003年11月10日

カナダ、中国、EU、日本、韓国、ロシア連邦、米国の代表は、ITER核融合エネルギー研究計画の実施についての合意に向けて、2003年11月9日と10日に北京において会合を開いた。

中国においてITER政府間協議が開催されるのは始めてであり、また、2003年6月にITERに正式に参加した韓国にとって最初の政府間協議である。

中国科学技術省の徐冠華大臣は歓迎の挨拶の中で、ITER計画は中国だけでなく全世界のための新しいエネルギー源の探求において重要であると強調した。徐大臣は「ITERは、安全で効果的かつクリーンな核融合エネルギーを生み出すという夢を実現するための最も重要なステージである」と述べた。

今回の政府間協議において、各極代表は、国際機構の運営体制や、職員規則、財務規則、リスク管理などを含む広範な技術的かつ事務的項目について議論した。それらはITER協定を実施し、国際ITER機構を運営していくためのベースとなるものである。

各極代表は全ての項目にわたって実りのある進捗があったことで意見が一致した。そして、ITERのサイトと費用分担についての最終的な決定が2003年末までに得られるのではないかと楽観している。

Joint News Release

NINTH ITER NEGOTIATIONS MEETING

Beijing, People's Republic of China, November 10, 2003 – Delegations from Canada, China, European Union, Japan, the Republic of Korea, the Russian Federation and the United States of America met in Beijing on November 9-10, 2003 to continue their efforts to reach agreement on the implementation of the ITER international fusion energy research project.

This was the first such negotiations meeting to be held in the People's Republic of China, and the first full negotiations meeting attended by the Republic of Korea, which formally joined the ITER partnership in June, 2003.

In his welcoming speech to the delegations, Mr. Xu Guanhua, the Minister of Science and Technology of the People's Republic of China emphasized the importance of the ITER Project in the search for new sources of energy, not only for China, but for the whole world. Mr. Xu said "ITER is the most significant stage in realizing the dream of creating secure, effective and clean fusion energy."

At the negotiations meeting, delegates discussed a full range of technical, administrative and managerial topics, including the structure of the international organization, staffing, resources, and risk management, which will form the basis for the implementing ITER Agreement and the operation of the International ITER Organization.

Negotiators agreed that substantial progress was made on all topics, and delegations are optimistic that final decisions on the site of ITER and the cost sharing arrangement will be in place before the end of 2003.